

## 第4回 アドホック会議(OASIS/PPSTC ジョイント)議事録 (ものづくり APS 推進機構 PSLX フォーラム)

日時：2007年2月9日(金) 10:00~18:00

場所：製造科学技術センター(MSTC)第一会議室

### 出席者(敬称略・順不同)

西岡靖之(PSLX)、和田浩一(PSLX)、松川信也(日立製作所)、原田騎郎(オーグス総研)、高橋達也(横河電機)、山本明人(光電製作所)、野本真輔(構造計画)、岡宗秀一(PSLX)、馬場祐人(書記・PSLX) 9名

### 配布資料

- [1] 第3回アドホック会議(OASIS/PPSTC ジョイント)および第4回技術委員会議事録
- [2] PPS Part 2: Transaction Messages Working Draft 16, February 9th, 2007
- [3] PPS Part 3: Profile Specifications Working Draft 05, February 9th 2007
- [4] Industrial automation systems and integration – Service Interface for Testing Applications – Part4 (ISO20242 Part4) – Part4:Device Capability Profile template
- [5] 国際標準化協議会・国際標準化資料 No.43-1 および No.43-3
- [6] PDC(A)サイクルモデルの提案

### 議事内容

(午前)

#### (1) 報告事項など

※前回議事録をもとに会議の確認が行われた

- ・ Publish/Subscribe はやめること、情報の同期化についてさらに議論を進めること

#### (2) 情報の照会(PPS Part 2: Transaction Messages)の仕様の検討

(Part2 p.26)「7.情報の照会」について検討された

※受注問い合わせのトランザクションの例を挙げ、メッセージの内容が確認された

※(Part2 p.30)複数型プロパティの実装が可能であるかについて検討された

- ・ Selection や Condition の指定方法について確認・検討された
- ・ すべての条件を実装することは困難であるため、対象のオブジェクトを指定して、その中で集計するなどの方法で実装できれば、よいのではないかという意見が出された
- ・ どのレベルまで条件を指定可能にするかによってこの仕様で表現させる度合いが変わるという意見  
→SelectionやConditionの指定方法についてさらに検討する必要があることが確認された

#### (3) イベント通知機能(PPS Part 2: Transaction Messages)の仕様の検討

(Part2 p.35)「8.情報の同期化」について検討された

※前回会議から追加、変更された内容が確認された

- ・ SyncRequest 以外の Sync~要素が廃止された

※(Part2 p.37)「8.3 同期化の指定方法」について

- ・発注点管理を意識すると、在庫量が 100 を下回ると常にイベントが発生し続ける問題があるという指摘があり、それを回避する仕様を追加する必要があることが確認された

→Property 要素の alarm 属性(値:always/begin/both)を追加した

- ・現状の仕様は、値が変化したときに通知を送るのが基本で、ここで言う条件は監視の範囲を限定するための条件であるという意見が出された

→サンプルを実装することでさらに問題点を検討することが確認された

※データベースが変更された場合にアプリケーションへ通知する機能の実装方法について検討された

- ・メッセージキューを使う方法。アプリケーションのインタフェイスが確認する方法。トリガ/ストア  
ドプロシージャを使う方法。の3つが検討された

→Part2 について次回の会議までにPPS仕様のイベント通知の内容や今回の修正点を最終版として完成させ、4月までには投票のフェーズへ移る方針が確認された

(午後)

### (3) ISO20242 Part4 での OASIS PPS スキーマの利用承諾に関する審議

※資料[5]を参照の上、[4]ISO20242 Part4 での PPS スキーマの使用について検討された

→ISO20242 Part4 でのPPSスキーマの利用について、委員会としては引用された文書の仕様検討のための関係者への配布と承認されたISO標準の中での引用について制限しない(ただしコピーライトの委譲は行わない)ことについて了承された

### (4) プロファイル記述 (PPS Part3: Profile Specifications) の仕様の検討

※[3]PPS Part3 プロファイルの内容について修正、追加点で説明され、検討された

- ・業界での共通プロファイルと、個別に設定できる個別プロファイルに分けた

※(Part3 p.9)拡張プロファイルについて

- ・業務オブジェクトごとに推奨のプロファイルがあるべきであるという意見が出された

- ・(Part3 p.15)プロファイルの拡張方法について、共通プロファイルの定義方法を説明しているのか個別プロファイルの定義方法を示しているのかが不明確であるという意見が出された

→標準プロファイルの章の後に、共通プロファイルの定義について説明することが確認された

※(Part3 p.12)DomainObject の Property 属性の path の指定について検討された

- ・Property 要素で path 属性を指定した上で multiple 属性を指定した場合、どの要素が複数あるのかが明示することが難しいのではないかという意見が出された

例 path="Produce/Qty"の場合 Produce が複数なのか Qty が複数なのか

→multiple 属性は、一階層目の要素が複数の場合を表す

→実装 1 レベルでは multiple であってもシングルとして扱う

※(Part3 p.26)「7 標準業務オブジェクト」の内容について確認、検討された

- ・プロパティの内容については別途、検討することが確認された

→今回検討された内容で大きな問題はないことが確認され、8月までにPart3 を完成させ、Public Previewを出し、OASIS標準の投票を行う方針が確認された

### (5) PDC(A)サイクルモデルの提案

※[6]PDC(A)サイクルモデルの提案の内容について説明された

次回予定

2007年3月15日(木) 10:00～ 第5回 PSLX 技術委員会会議

2007年4月23日(月) 13:00～ 第5回 アドホック会議(PPS ジョイント)

以上